

国交省

# 14年度経営相談を開始

## 建設関連3業種も対象

国土交通省は1日、中小・中堅建設会社を対象にした14年度の経営戦略アドバイザリー事業をスタートさせた。同日、建設業振興基金と各地方整備局などに「経営戦略相談窓口」を開設。新事業を展開するまでの課題や施工管理などの技術的な課題について、相談を広く受け付ける。今回から、利用対象者に測量業、建設コンサルタント、地質調査業の建設関連3業種も追加した。

アドバイザリー事業では、窓口で相談を受けた上で、振興基金に登録している建設事業に精通している建設診断士や公認会計士などの専門家で構成する建設産業経営戦略アドバイザーによる助言

を実施する。

相談内容に応じて、工

業界別支援には、支援

金の割合を請負金額の50%

以内とする特例措置を行つ。

大震災の被災地域での国

土建工事について、前払

金が創設された。

14年度も実施する。前払

金の割合は通常は請負代

金の40%以内だが、着工

の40%以内とする特

例措置を継続する。

併せて、中間前払金

の対象を、原則1000

万円以上かつ工期150

年数によると、南海トラ

フ地震と首都直下地震

の災害廃棄物の最大処理

年数によると、南海トラ